

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

お元気ですか

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

花と野菜の“小林農園”

平成24年2月21日（火）

第277号

発行 NPO法人ひまわり

岡山県鏡野町羽出 690

理事長 小椋勝好（編集 美若）

小林光・育子夫妻が体験発表 / 岡山農村ルネッサンス体験主張大会で

岡山農村ルネッサンス体験主張大会を傍聴して 小椋勝好

先日、「農業体験発表」をするからと、当ひまわり会員小林育子さんよりお誘いを受けました。2月12日 鏡野町中央公民館で「岡山農村ルネッサンス体験主張大会」が満員の傍聴者で開催されました。

小林夫妻による発表は 「花と野菜の“小林農園”」……退職して初めて手がけた“小林農園”、いろんな苦難を信仰で乗り越え、今では感謝しながら農業を！ これからも「二人三脚で地域に貢献！」

＜光さん＞ 私は66歳になる小林です。30アール耕作し、野菜・花を作り、道の駅・夢広場に出荷している。日常の農作業で安全安心の野菜を消費者に届けたいとの思いから、落ち葉・すくもなどで堆肥作りをしながら有機栽培を心がけ、除草も極力手作業を実施しています。 昨年は、奥津小学校3年生の授業で「奥津特産姫唐辛子の栽培」手入れなどの指導をしました。（昨年11月の奥津小学校学習発表会で3年生全員により発表されました。）我が家のペット「豚・犬」を相手に遊ぶほうが主になり大変でした。

日常作業では「あんた、草をちぎらず、丁寧に取らんさい、早いだけがいいのではないよ。もういい加減には農作業の段取りを覚えんさい」など小言を言われ、腹が立つががまんして「はいはい」とやり過ごしていますが、腰には鎌、手には鍬を持っているので、近くでの作業は避け、離れた場所でやります。腹立ちまぎれに妻の頭に鎌が刺さらないとも限らないので…と光さん。

＜後半は 育子さん＞ 「主人が言っている程ではありませんけど」「出荷した物が完売した時のうれしさは言葉になりません」と面白くおかしく発表され、会場から拍手喝采で盛り上がりました。

- 他に「かなった農業の夢 マスカット・桃栽培に燃える青春」 岡山市 池宗信生さん
「魅力ある農業を先陣切って ナスの契約栽培に実績」 岡山市 田頭敏雄さん
お二人の体験発表もあった。
- 発表後、山崎鏡野町長などの挨拶や講評、主催者（創価学会 稲田副会長）挨拶などがあり、有意義な時間を過ごすことができました。（*14日 山陽新聞に記事）

「ふれあいの里」 次回は、2月28日（火）に開きます。

* インフルエンザがはやっています。うがい、手洗い、水分補給！